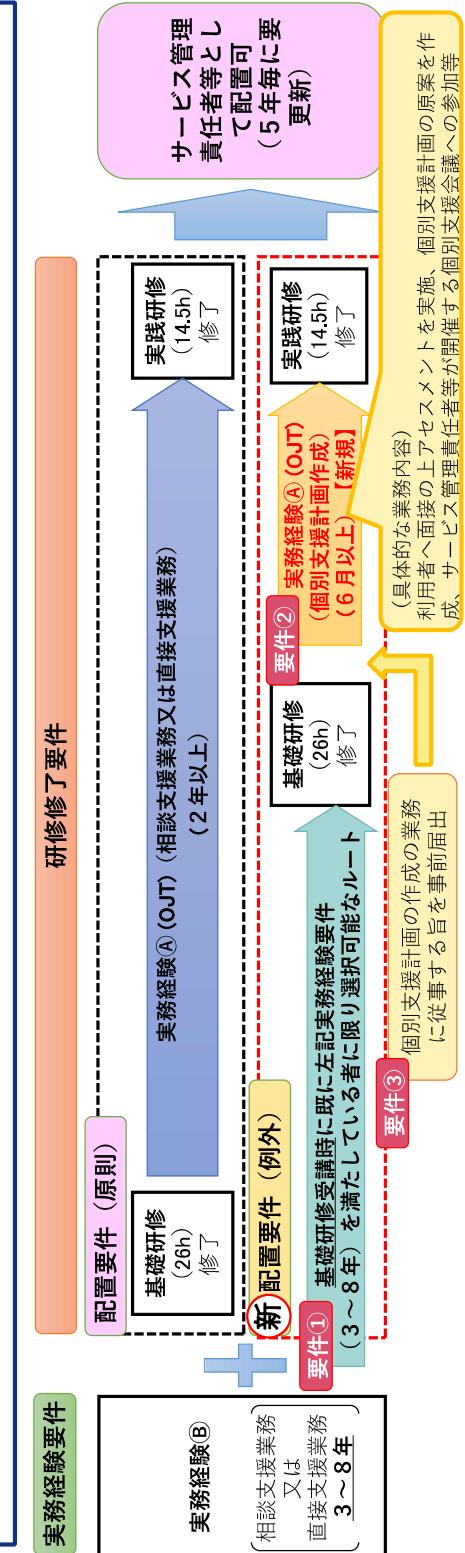


サービス管理責任者等研修制度の変更点のポイント

① 塞跨研修の受講に係る実務経験(OJT)について

- ・ 現行制度上、実践研修の受講にあたつて必要な実務経験(A(OJT))については、基礎研修修了後「2年以上」の期間としており、これを原則として維持しつつ、一定の要件を充足した場合には、例外的に「6月以上」の期間で受講を可能とする。
 - 【要件】※①～③を全て満たす必要あり
 - ① 基礎研修受講時に既にサービス管理責任者等の配置に係る実務経験要件⑥（相談支援業務又は直接支援業務3～8年）を満たしている。
 - ② 障害福祉サービス事業所等において、個別支援計画作成の業務に従事する。（具体的には以下のいずれかのとおり）
 - ・ サービス管理責任者等が配置されている事業所において、個別支援計画の原案の作成までの一連の業務（※）を行う。
 - ・ やむを得ない事由によりサービス管理責任者等を欠いている事業所において、サービス管理責任者等とみなして従事し、個別支援計画の作成の一連の業務を行う。
 - ③ 利用者へ面接の上アセスメントを実施し、個別支援計画の原案を作成し、サービス管理責任者が開催する個別支援会議へ参加する等。



8
四